



石川けんじ

ニュースレター

第74号(改題82号)

社民フォーラム 市議団版

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1
電話 022-214-8717(直)
FAX 022-711-3453

新たなまちづくりに向け過去最大の当初予算

仙台市議会第1回定例会(2・8～3・14)報告

第1回定例会市議会は、約5,929億円の過去最大規模となる新年度一般会計予算や条例改正案など79件(内1件は議員提案)の議案審査を行い、いずれも原案どおり可決しました。

主な施策として、青葉山エリアに、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合整備や大手門復元に向けた取り組み、全国都市緑化フェアのメイン会場となる「仙臺緑彩館」等整備、次世代型放射光施設整備、新庁舎建て替え事業、仙台駅前西口の広場化社会実験、G7 関係閣僚会議誘致などを掲げました。

また、「新生児誕生祝福事業」や「若年・子育て世帯住み替え支援」など、子どもや子育て分野に力点を置いたほか、「女性・若者活躍推進事業」や、わが会派が要望してきた「ヤングケアラー支援体制強化」や「市立夜間中学」設置準備など、孤立や貧困、引きこもりなどの困難を抱える若者や女性への支援、市民活動を支える環境づくりなどの新規事業を立ち上げ、既存事業の拡充も進められました。

特別会計(約3,151億円)、企業会計(約2,296億円)を合わせ総額1兆1,376億円となり、11年連続の1兆円越えとなりました。

条例改正案では、新型コロナ対策や35人以下学級を小学4年生に拡大するため、保健所や教職員等を増員する職員定数条例の改正、地下鉄五橋駅の自転等駐車場整備、市営バスの貸し切り事業の廃止、市立病院への腎臓内科の新設などを承認しました。

また、イズミティ21の大規模改修、仙台メディアテークの照明施設等の改修工事、市施設の指定管理者の指定に関する件などが提案されました。

人事案件では、高橋副市長の再任の他、人権擁護委員の推薦などに同意しました。

補正予算で保育士等の処遇改善や新型コロナ対策拡充

令和3年度一般会計の補正予算では、保育士や幼稚園教諭の処遇改善、障害者福祉サービス事業所のコロナ感染症対策のほか、道路の新設改良、小学校トイレの様式化など、総額約104億4,300万円が計上されました。

中小事業者や支援が届かなかった子育て世帯への支援

新型コロナの影響で売り上げが大きく減少した中小企業と個人事業者で、国の「事業復活支援金」の受給者に対し、最大25万円を上乗せ支給する「中小企業等事業復活支援給付金」支給する補正予算が追加されました。

合わせて、子育て世帯等への臨時給付金を、離婚や別居中などで受け取れなかった支給対象者に支給する追加補正が提案されました。

市議会を傍聴しましょう

第2回定例会市議会予定

月	日	曜日	予 定
6	9	木	本会議 開会日
	15	水	本会議 代表質疑
	16	木	
	17	金	本会議 一般質問
	21	火	
	22	水	常任委員会
	23	木	常任委員会(予備)
	24	金	本会議 閉会日

※ 土日祝日は休会
※ 開会時間はいずれも午後1時から

代表質疑で提言交え議案内容を質す

私は2月16日の本会議で代表質疑に立ち、提案された議案について、提言などを交えながら、質しました。また、2月21日には、補正予算の追加議案に対する代表質疑を行いました。

家庭内感染防止と自宅療養者支援



「39歳以下で重症化リスクの低い患者は原則自宅療養」とした新型コロナ対策に疑問を呈し、家庭内感染を防ぎ、安心して療養できる環境の提供を求めました。

これに対し答弁では「家庭内感染の不安など

がある方は宿泊療養施設への入所調整を行うなど適切な対応をとる」と応じました。

その後、「原則自宅療養」は「原則宿泊療養施設に入所」と方針転換されました。

南小泉中学校に夜間中学 2023 (R5) 年度開校

様々な事情により小・中学校で学ぶことができなかつた方などの「学び直しの場」が必要と、わが会派が求めてきた効率夜間中学が2023年度開設に向け準備が進むこととなります。

これまで市内で学びを支えてきた「市民自主夜間中学」の評価と、開校までの取り組みを質し、教育長は、これまで200名を超える方が学んだとして「学び続ける環境の一翼を担っていただいている」と評価、今年8月以降に複数回の入学説明会を開催し、来年1月頃に入学者決定との予定を明らかにするとともに、県との連携や関係者等の意見を開校や運営に反映するとしました。

4病院の統合・合築で 関係自治体との連携求める

市民が注目する4病院の統合・合築問題について質しました。

新年度の取り組みについて、健康福祉局は「市内医療機関等の現況調査と医療提供体制の現状と課題について認識を深める有識者会議を設置する」と説明し、医療提供体制に課題を持つ県

内自治体との連携については「必要に応じ意見交換等を行いながら、県に働きかけていく」としました。

2/21 補正予算追加議案 代表質疑

事業者への支援給付金の拡充を実現 受給者への周知も

補正予算の追加議案に対する代表質疑も行いました。

今回の追加補正予算は、子育て世帯等への臨時特別給付金を昨年9月以降の離婚等で受け取れなかつた方への給付であり、着実に受給できるよう周知などの対応を求めました。

また、「中小企業等事業復活支援金」は、新型コロナで売上高減少率が50%超の事業者等に最大25万円を支給するものですが、国の事業復活支援金の対象となっている売上高減少率30%～50%未満の事業者も対象とするよう求めたのに対し、否定的な答弁となりました。

しかし、すべての会派から拡充が求められたことから、売上高減少率30%～50%未満の事業者に対象を拡大すると方針転換しました。

事業者らの窮状と支援の拡充を訴えた議会に答えるものとなりました。

《採択された意見書》

「台湾の世界保健機構（WHO）への参加実現のための取組の強化を求める件」

「戦没者の遺骨収集を着実に推進することを求める件」

「台湾の環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）への加入に向けた積極的な働きかけを求める件」

ロシアの軍事侵攻に抗議決議

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議案」を全会一致で可決しました。また、ユニセフを通じてウクライナ難民支援に55万円を送ることも決めました。



予算等審査特別員会で3度の質疑

泉区役所建て替えを巡って質疑

泉区役所建替え事業者が選定されましたが、市民が期待した泉中央地区の活性化やバスプールの狭隘問題と交通渋滞解消は先送りされた感が強く、問題点を挙げながら質疑しました。

新年度では、建替え事業等に専門的知見から支援を受けるアドバイザー業務委託に2,000万円ほどが計上されました。

今後の泉中央地区の賑わいづくりや活性化について私は、「区民と一緒に育てていく視点が大切。賑わいや活性化に向けた計画づくりが必要」と提案し、当局は「実証実験などを行いながら、検討していく」と応じました。

狭いバスプールの混雑解消には、路線バスの待機場の確保やバスプールの分散化が必要と指摘し、「混雑解消の改善効果が高まるよう取り組む」との答弁を引き出しました。

また、市民等の意見反映には、市民説明会や関係機関、団体等との意見交換のほか、区役所職員の考えも取り入れ、理解と協力を求めているとの考えを示しました。



仙台市HP「提案書概要版」より抜粋

生活道路・通学路の安全性の確保や向上策を質す



児童生徒が安全に安心して登下校できる生活道路や通学路の安全性の確保や向上策について質し、当局は「新年度に、歩道の拡幅、路側帯のカラー化、反射板による注意喚起、防護柵の設置などを実施する」と答えました。

また、横断歩道の前後に緩やかな傾斜を設ける「スムーズ横断歩道」と交通規制時間帯等に合わせ、道路に埋め込んだ車止めを上下させ

る「ライジングボラード」の導入を検討するよう求めたことについては、「警察など関係機関と連携し、必要に応じて検討する」としました。

地域の子育て、七北田公園との連携、南北線延伸などで質疑

予算等審査特別委員会に付託された全議案に対する総括質疑では、新年度の子育て支援事業で、「地域の子育て力」の向上が大切と質し、当局は「今後もお住いの地域で子育てしやすいよう取り組んでいく」と答えました。

2023年度に開催される「第40回全国都市緑化フェア」に関連して、33年前の1989年に東北で初めて開催された都市緑化フェアでメイン会場となった七北田公園が、今回の緑化フェアに生かされていないことは問題だとして、七北田公園との連携を進めるよう求めたのに対し、当局は「七北田公園も連携会場に加える」と約束しました。

富谷市が検討を進める地下鉄南北線の延伸について取り上げ、事業の採算性や継続性などの課題を列挙し、本市の姿勢を質しました。

当局は「富谷市が検討している地下鉄整備の概要について情報提供されている段階」とした上で、「今後については、富谷市から（協力について）申し入れがあった時は、富谷市の考えを伺った上で対応を決めたい」との考えを示しました。



【新年度に実施される泉区の主な事業】

松森工場の基幹的設備改良	31億5,000万円
都市計画道路（宮沢根白石線「南光台」）整備	2,000万円
道路新設改良（泉塩釜線、荒巻大和町線、八乙女駅前線、他）	2億4,832万円
橋りょう整備（（仮称）新馬橋、泉中央ペDESTリアンデッキ）	2億2,800万円
公園整備（七北田公園、桂島緑地、南光台ふれあい広場公園、松陵緑地、長命館公園、鶴が丘緑地、他）	1億3,920万円
学校教育施設整備（七北田中学校、黒松小学校）	20億8,793万円
いずみ墓苑整備	8億1,235万円
市民センター整備（南中山、高森、松陵、他）	5億3,637万円
イズミティ21大規模修繕	29億9,804万円
将監地域複合施設整備関連（市民センター・老人憩の家・児童センターの解体）	2億5,808万円
集会所建設補助（将監三丁目、館一丁目、高森八丁目、他）	4,831万円

実現しました!

遊具の修繕が完了 (七北田公園)

七北田公園の利用者から要望されたキートス広場の遊具の修繕が完了しました。

また、七北田公園の魅力向上にもつなげるキッチンカーによる子育て支援が取り組まれました。



鳥井原交差点の信号機改良



地元をはじめ多くの方から要望された国道4号仙台バイパスの鳥井原交差点の右折信号が時差式から矢印式に改良されました。スムーズな右折が可能となり、喜びの声が寄せられました。

山の寺2丁目の道路と側溝整備が進む

年次計画で進められている事業が着実に実施されています。



向陽台5丁目公園のブランコを交換

当初、2台のみの交換だったのですが、4台すべての交換を要望し実現しました。地面から座席までの高さの調整もおこなわれ、安全に遊べるようになりました。



生活道路等の安全策実施 (向陽台5丁目、泉ヶ丘3丁目)

交通事故防止と安全な通行の確保として実施していただきました。



◆私の話を直接聞いてみたい方お伺いいたします。

ご友人同士でも、各種サークルでも、「将来の暮らしはどうなるの?」「地域の問題を解決してほしい」「市議会や議員について知りたい」など、市政や政治について議員の話を聞いてみたいと思ったら、お気軽にご連絡下さい。

◆気軽にお立ち寄り下さい 石川けんじ事務所

〒981-3102 泉区向陽台4丁目16-11 (七十七銀行向陽台支店様向かい)

お問い合わせ・お申込みは

TEL 342-1095 FAX 342-1096

お願い

『石川けんじニュースレター』を郵送でお届けしている方につきましては、私の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付してしまうなど、ご迷惑をおかけしていることもございます。

その際は、ご面倒でも石川けんじ事務所までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

また、お名前やご住所に誤字等がある方および『石川けんじニュースレター』が不要の方もご連絡いただけますようお願い申し上げます。

石川けんじ主な役職

- ◇総務財政常任委員会委員
- ◇歴史まちづくり調査特別委員会委員
- ◇仙台市都市計画審議会委員
- ◇仙台市・富谷市広域行政協議会常任委員

市政に対するあなたのご意見をお待ちしています。

FAX 022 (342) 1096

メール ishiken@sea.plala.or.jp